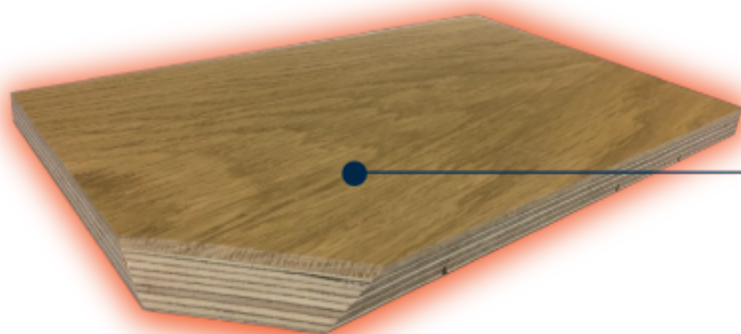




遠赤外線

Ua Floorsのフローリングは、Ua社が独自で開発し、木材に施した、アクティブに遠赤外線が発生するフローリングです。遠赤外線は体内の水分子をイオン化し、より良い循環促進する電磁波として知られています。

抗菌

ナノ抗菌*という付加価値を製品に付けました。私たちは、フローリングが単なる木の床ではなく、より健康的な生活をサポートするための重要な役割を担うと強く信じています。

※機能性ナノ粒子を複数含み、赤外線を放射する機能を備えた材料を使用

こだわり
素材

日本ではめずらしい幅広いフローリングやスタイルのあるものを採用。空間をさらに良質なものにするための技術革新に、日々努めています。Ua Floorsの木材は安全なフローリングの基準を超えていることを証明する認証を取得しており、海外でも人気と実績のある商品を提供しています。

サスティナ
ビリティ

持続可能性を確保するために、世界中の人工林から仕入れた木材を使用しています。1本の木を伐採するごとに、3本の木を植林しています。また、入手した丸太を無駄にすることなく、1本1本有効に活用できるような設計・製造をしています。

日本初上陸、 遠赤外線を発する リカバリーフロア。

1992年、台湾の台中に創業したUaFloors。約30年にわたり、世界中のお客様に持続可能で高品質なフローリングへの道を切り開いてきました。Ua Floorsは、安全基準を満たしたサステナブルな広葉樹のフローリングで、遠赤外線放射機能を有するフローリング材として世界中の協会や団体から評価を得て、複数の賞を受賞しています。常に体が接触している床は、おうちづくりの縁の下のチカラ持ち。大切な人がいる空間だからこそ、足元には良いものを使いたい。そんな願いをサポートするフローリングを、是非ご検討ください。

人生において 健康は何よりも大切だと思う 97.9%

日本は2025年に4人に1人が75歳以上の高齢者になるといわれています。働ける人口の減少や、医療費負担の引上げなどから健康保持や増進にお金をかける人が増えてくることが予測されています。以前は、健康保持や増進をしている人は「意識の高い人」として認識されていましたが、2018年に発表された「経済産業省『健康ビジネスポテンシャル調査』」では「人生において健康は何よりも大切だと思う」という問いに対して97.9%の人が肯定していることから健康に関わる関心度は年々高まっています。

yes



Ua Floorsの遠赤外線フローリングが 床から「健康」を支えます

遠赤外線は一種の光波であり、地球上の全ての生物は、成長のために遠赤外線と水を必要とします。水を活性化したり、特に植物の成長を促進する作用があると言われる育成光線は水と相性がよく、熱エネルギーが動植物の深部まで伝わりやすいことが特徴です。人のカラダは70%が水分。遠赤外線との共鳴効果は、毛細血管や新陳代謝、自律神経などに有利に働くとされています。遠赤外線を発するフローリング、Ua Floorsは床から住む人の「健康」を支えます。



Ua Floors 董事長（会長） 蘇振毅よりメッセージ

日本の皆様こんにちは。UaFloorsは2023年「台日友好」を契機に日本市場に参入いたしました。私たちにとって日本のお客様はとても重要なお客様であり、遠赤外線ウッドフローリングで喜田建材とパートナーシップを組むことができたことを誇りに思っています。

日本市場への参入にあたり喜田建材を選んだ理由は3つあります。

1つ目は100年先を見据えた企業であること。喜田建材はグループ創業100年以上の歴史を持ち、UaFloorsが考える木の床へのこだわりを共有することができたからです。2つ目はデザインの革新と伝統的な職人技です。革新的、かつ古いものと新しいもののよいところを取り入れたデザインを通じて伝統的な木の床を様々な空間で活かすことができるからです。3つ目は幅広い年齢層に住空間からの健康を支えることができることです。UaFloorsのフローリングはアジアだけではなく米国のハイクラスのお客様にも大変好評をいただき、ホテルやコンドミニアムのほか保育園や高齢者の多いエリアでも多く採用いただいております。(株)喜田建材が考える「住空間からの健康」に共に取り組んでいきます。

UaFloorsは、お客様一人ひとりに安心して使っていただけるよう、心を込めた製品づくりを続けていきます。ぜひお試しください。

お問合せ先

輸入・販売総代理店
株式会社喜田建材

香川県三豊市詫間町詫間 890-1

[T E L] 0875-83-3669
[E-mail] info@uafloors.jp
[H P] <https://uafloors.jp>

